

デジタル乳房検診車納車のお知らせ

新たなデジタル乳房検診車が令和2年12月25日に納車されました。

このデジタル乳房検診車は、公益財団法人 JKA の競輪補助事業(2020年度)を受けて整備しました。

完成披露式を令和3年2月19日に県民健康センターで開催し、交通安全を祈願しました。

新・検診車は令和3年4月より本格的に稼働となります。

1 事業の概要

(1) 目的

デジタル乳房検診車の導入により検診精度の向上を図り、乳がんの早期発見・早期治療につなげ、より多くの方に受診機会を提供し、県民の健康増進に寄与する。

(2) 内容

デジタル乳房検診車



デジタル乳房撮影装置



2 特徴

新しく導入した検診車は、最新鋭のデジタル乳房撮影装置を搭載しており、その画像はアナログシステムの画像に比べ高画質な画像となり、早期の乳がんで見られる特徴も鮮明に映し出すことができます。車内は段差のないフラットな床面で、待合室や撮影室も広々としており受診者にやさしい仕様となっております。

当協会はこの検診車を大いに活用し、1人でも多くの方に乳がん検診を受診していただき、乳がんの早期発見に尽力してまいります

3 ふくい健康の森通信 Vol. 52

最新鋭のデジタル乳房検診車が加わりました

公益財団法人JKAの2020年度の「検診車の整備(婦人検診車)」事業として採択され、競輪の補助金の交付を受けて、新しい乳房検診車を導入いたしました。

最新鋭のデジタル乳房撮影装置を搭載しており、この装置で撮影した画像は、アナログシステムの画像に比べて高画質な画像となり、早期の乳がんで見られる特徴も鮮明に映し出すことができます。

車内はフラットな床面で、待合室や撮影室も広々としており、受診者にやさしい仕様となっております。

車体外装は、KEIRINシンボルマーク“GIRLS KEIRIN”のマークを車両の両側面部および後部に貼付しています。

令和3年4月の検診より本格稼働となり、乳がんの早期発見を目指して、県民の健康増進に寄与してまいります。



デジタル乳房撮影装置

